

## 平成27年度火災調査研修を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部では、平成27年11月10日（火）に消防本部3階会議室において平成27年度火災調査研修を実施しました。

この研修は、近年増加する製品火災事故事例について、火災調査技術のさらなる向上を目的とし、独立行政法人製品評価技術基盤機構（通称NITE＝ナイター）から講師を招き行いました。

研修には当消防組合の職員87名が参加し、製品火災事故の事例について研修を行い、火災原因調査への意識の向上及び知識の涵養を図りました。



## 児童防火ポスターで火災予防！

奈良県広域消防組合消防本部

高田消防署では、防火意識の高揚を図ることを目的に管内の小学校4年生を対象として防火ポスターを募集したところ、269点の応募があり、審査の結果、最優秀賞をはじめ各賞が決定しました。すべての応募作品は秋季火災予防運動週間中、高田消防署管内の一般市民に広く公開できる場所へ展示し、火災予防啓発を行いました。



## 消防通信 望楼 ぼうろう

## 「幼年・少年消防クラブ結成30周年記念式典」を挙行了しました

札幌市消防局

札幌市内の幼年・少年消防クラブが、昭和60年の結成から30周年を迎えたことから、平成27年10月10日（土）、札幌市東区の「つどーむ」において、約1,300名の参加を得て、記念式典を挙行了しました。北村実行委員会委員長のあいさつ、町田札幌市副市長、東田北海道消防協会会長の祝辞を受け、幼年消防クラブ員の踊りや少年消防クラブの訓練成果などが披露され、最後には、仙台市少年消防クラブと映像を介したエール交換を行い、安全・安心なまちづくりに向け、誓いの言葉を宣言しました。



## 「第1回秋田県消防救助研究会」を開催

秋田市消防本部

秋田県内13消防本部から約320名が参加し、平成27年11月19日（木）に秋田市において第1回秋田県消防救助研究会が開催されました。

講師に総務省消防庁消防大学の染葉助教授を招き、基調講演として「救助対策」を聴講しました。

また、国際消防救助隊員によるネパール共和国での「国際緊急援助隊活動報告」、消防救助隊員からの「事例研究報告」が行われました。最後の研究討議では、建設的で活発な議論が展開されました。

来年度以降も、県内外から講師を招き県内消防本部で情報共有を密にし、秋田県全体の消防救助技術の向上を目指します。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】